

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 2月 22日

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 放課後等デイサービスジニアス名古屋南校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 3 | 1 | 現状活動によってテーブル等は移動している | 基準は満たしているが、スペースが限られている為、出来るだけ広く使える工夫をしていくたい |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 4 | | 利用者様の状況に合わせて、日によって職員数を増やす等の対応をしている。 | 継続していく |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 2 | 2 | | 段差等はないが、柱があつて見えにくかったり通路の狭さがある為、危険個所を確認し安全を確保する。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 4 | | 毎日、清掃や使ったおもちゃ等アルコール消毒は行っている。活動に合わせてテーブルをどかす等の空間作りは行っている。 | 継続していく |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | 1 | 業務や情報の共有を行っている。 | 意識はしているが、状況によって難しい部分がある為、改善策も含め検討していく。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 3 | 1 | 情報の確認、職員間での共有や改善案を話し合い、支援に繋げている。 | 評価表の内容、アンケート等をもとに今後の改善に繋げていきたいと思う。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | | ホームページに公表しているが、知らない方もいる為情報共有し、改善に繋げていく。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | 2 | | 外部講師からの助言も含め業務改善に繋げていく。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 1 | 研修の機会はある | 業務向上の為に、様々な研修に取り組んでいくたい |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 4 | | アセスメントツール等に関しては、現状使いにくい部分もある為、見直している。 | 今後も継続をしていく |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | | アセスメントツール等に関しては、法人内の事業所と連携をし、利用者様にあったアセスメントを作成中である。 | 今後も継続をしていく |
| | 12 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 4 | | ガイドラインに沿った計画を意識している | 今後も継続をしていく |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 4 | | 施設間のスタッフで支援の内容の共有を行っている | 今後も継続をしていく |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | 施設間だけでなく、法人内でもチームとして行っている。 | 今後も継続をしていく |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | | 施設間だけでなく、法人内でもチームとして行っている。 | 曜日によっては固定しているものもあるが、利用者様にあったプログラムを考えて行きたい。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | | | 今後も継続していく。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | | 事前に注意すべきことに関してや役割について、共有している | 今後も継続していく。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 2 | グループLINEで情報共有している | 時短のスタッフもおり、支援終了時にそろっての打ち合わせは難しいため、共有すべきことに関しては、グループLINE等で共有している。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | | 利用者様の様子等を記録し、情報の共有を行い支援に繋げている | 今後も継続していく。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | | | 今後も継続していく。 |

| | | | | | |
|--------------|----|---|---|---------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | | 今後も継続していく。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 2 | 2 | 積極的に連携をとつてていくようにしていく。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | | 4 | 現状対象な利用者様がいないが、今後契約の場合は連携して支援を行つてていきたい。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | | 4 | 現状対象な利用者様がいないが、今後契約の場合は連携して支援を行つてていきたい。 |
| | 25 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | 2 | 法人内の事業所と連携は取れているが、他事業所との連携が取れていない為、連携していくように努めしていく。 |
| | 26 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 2 | 法人内の事業所と連携は取れているが、他事業所との連携が取れていない為、連携していくように努めしていく。 |
| | 27 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 1 | 3 | 積極的に研修に参加をしていく |
| | 28 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 2 | 2 | 公園等には行けているが、児童館等で積極的に交流できる場面が少ないため今後交流の機会を増やしていく。 |
| | 29 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 2 | 2 | 積極的に参加していく |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | 送迎時や面談でお話をさせて頂いている。 | 今後も継続していく |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 2 | 2 | 保護者支援の充実を図る為、職員の学びの機会を増やしていく。 |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | | 契約時に説明をしている。 |
| | 33 | 放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 4 | 契約時に説明している。 | 今後も継続していく |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 2 | 2 | 保護者様のニーズに合わせた相談にすべてのスタッフが応じられるように、学ぶ機会を増やしていく。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 4 | ニーズに合わせた父母会の開催を出来るように努めしていく。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | 今後も継続していく |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | 広報誌を発行し情報を発信している |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 4 | | SNS等に写真を使わせていただく際には、写真掲載等の確認を契約時に行っている。 |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | | 保護者様のニーズに合わせて連絡方法を変えている。また、お子様に対しては絵カード等でもやりとりをしているが、カード数等も増やして対応してていきたい。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 4 | 地域との連携について率先して対応してていきたい。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|-------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 4 | | | 訓練は実施しているが、全員に対して細やかな説明が出来ていない為、順次行っていきたい。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | | 月1回、必要な訓練を行っています。 | 今後も継続していく。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 4 | | 契約時に記入していただき、スタッフで情報共有を行っている。 | 今後も継続していく。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | | 契約時に記入していただき、スタッフで情報共有を行っている。 | 今後も継続していく。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 4 | | 日々記入し、共有している。 | 今後も継続していく。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 4 | | 月1回の会議を行い、共有している。 | 今後も継続していく。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 4 | | 月1回の会議やで話し合いも行っている。 | 今後も継続していく。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。